

初学者の興味関心を高める アクティブ・ラーニングによる経済学教育

2014年10月11日(土) 法政大学

栢山女学園大学 現代マネジメント学部 水野英雄
〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3
研究室TEL 052-781-4652 FAX 052-783-6732
E-mail hmizuno@sugiyama-u.ac.jp

栢山女学園大学

- 7学部で約6,000名の学生が在籍している女子大学の中では規模の大きな総合大学である。
- 少子化により出生数は1973年の209万人から2012年には103万人にまで半減し、各大学ともに魅力ある学部やカリキュラムによる教育を行うことで、学生の確保を目指している。
- そのような背景を踏まえて、栢山女学園大学も多くの学部を設置しており、**現代マネジメント学部は全国でも数少ない女子大学のビジネス系学部として2003年に設置された。**
- 2014年には**大学院現代マネジメント研究科**を設置している。

現代マネジメント学部の教育

- 現代マネジメント学部の教育は、**ビジネス分野への女性の積極的な進出**を目的としている。
→現在は**男女雇用機会均等法の恩恵を受けた女性が40代となり、管理職にも登用されるようになった。**2012年12月に発足した第二次安倍内閣においても女性の社会での積極的な活用を重視している。「**女子高等教育の重要性**」
- ビジネス分野で必要となる**経営分野の学問的な理論と社会での実務を融合させた教育を行うためのカリキュラム**を設けている。また、経営分野を学ぶために必要な**経済や法律・政治**に関する授業を設けている。

アクティブ・ラーニングの目的

- ビジネス系学部では学問的な理論を学ぶだけでなく、実践的な内容の学習も必要である。そのため**アクティブ・ラーニング(体験型学習)**を積極的に活用している。
→「**経営に役立つ経済学教育のためのアクティブ・ラーニング**」

c. f. 前任校(愛知教育大学)では、「**教員養成に役立つ経済学教育のためのアクティブ・ラーニング**」(教員になって役立つ、授業で実践できる経済学教育のためのアクティブ・ラーニング)

教育の質的転換

- 何を学んだかではなく、何が出来るようになったか。
- **アクティブラーニング(体験型学習)**へ体験を通じて学ぶ。
中国の老子の言葉
「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。やったことは、わかる」
- 「主体的な学び」
・大学の授業でも、多く行われる。
・小・中学校、高等学校でも行われている。

主なアクティブ・ラーニングの手法

- ① 株式投資ゲーム、貿易ゲーム等の体験型教材の活用
- ② 様々な企業や港湾・空港、研究施設等の見学
「**現地現物**」
- ③ 日本銀行(金融広報中央委員会)、東京証券取引所(日本取引所グループ)、JICA(独立行政法人国際協力機構)等から講師を招いての講演会
- ④ 模擬起業体験
- ⑤ 企業と共同での商品開発
- ⑥ ビジネスプランコンテスト等のコンテストへの応募

アクティブ・ラーニングの成果

- 初学者である学生は、経済に関して初めて学ぶ内容が多く、アクティブ・ラーニングを通じて興味深く学ぶことが出来たという感想が多い。(大学1年生ではなく、高校4年生、さらに言えば、中学7年生といった印象の学生すらいる。そういった学生にも、興味を持って取り組める内容となっている。)
- アクティブ・ラーニングで学んだ内容は、**就職活動の際に、エントリーシートに具体的な経験や成果として書くことができる。**
→企業の担当者にとっては興味ある内容。学生にとっても積極的なPRとなる。

学生の感想 (経済ゲーム)

<貿易ゲーム>

貿易のしくみを実際に取り引することで経験できて、良かったです。定規やハサミを使って、グループで考えながら学習できて、楽しかったです!!

貿易やグローバル化を身近な問題として考えることができました。

<株式投資ゲーム>

株式の売買を実際に取り引することで、株式市場のことがよくわかりました。

どのような企業がどんなときに株価が動くのかを理解することができました。

投資のタイミングや情報の重要性を体感することができました。

学生の感想 (企業・施設見学)

<中部国際空港(セントレア)・名古屋港>

普段入ることのできないようなところに入れて、間近でいろんな船や飛行機を見れてすごく迫力がありました。
とても貴重な体験ができました。

<あいち臨空新エネルギー実証研究エリア>

実際に、太陽光発電のパネルや電気自動車などを見て、これからは生活の中でも資源を大切にしていこうと思いました。
職員の方に丁寧に説明していただき、新しいエネルギーのことを色々知ることができて勉強になりました。

アクティブ・ラーニングに向けて工夫した点

- 初学者の興味関心を高めるために体験型教材やオープンノートを活用している。
- 現実の経済問題をアクティブラーニングを通じて経済学の理論に基づいて理解することを目指している。
金融や経済の分野は学生の社会での経験が乏しいことから学問的な理論と現実の社会での金融・経済問題の関連性の理解が困難であり、統合的に学習できるアクティブラーニングは効果的である。また、キャリア教育につながることも期待できる。
「金融教育の現場レポート」金融広報中央委員会『くらし塾きんゆう塾』vol. 27, 2014年冬号24-27ページのインタビュー記事を参照

理論と実践の往還・融合

- 現在の経済学は抽象度が高い。そのため、初学者には理解がしにくい。
→**アクティブラーニング(体験型学習)による学習**は、まさに、経済学の理解を深めるために必要なこと。
※経済理論に基づいて、現実の経済問題を正しく見る眼を養う。

ミクロ経済学的視点

- ①貿易ゲームでの生産工程の工夫
・紙(原材料)の節約、分業

- ②企業の生産現場での工夫
・カンバン方式
・自動化

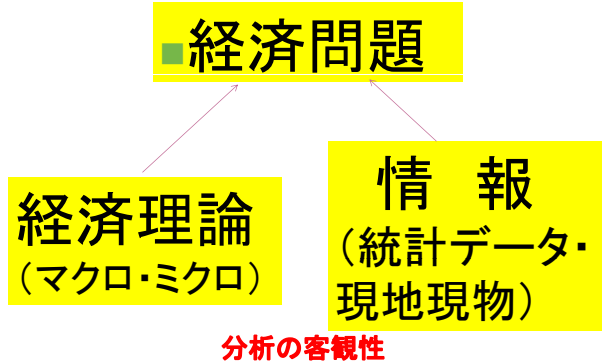
例、生産ラインだけでなく、床が動く工場

→ミクロ経済学における費用最小化

マクロ経済学的視点

- ①株式投資ゲームでの株価と景気の関係
- ②経済のスケールや各産業の連関
・原材料と中間財、製品の関係
- ③グローバル化・グローバル化と国際分業
・地域の問題と国際問題の融合。
例、リーマンショックが豊田市(トヨタ自動車の拠点)や愛知県に大きな影響を与える。

経済問題を正しく分析する



アクティブ・ラーニングの課題・問題、今後の改善点、提案

- 意欲的に取り組める学生とそうでない学生の差が大きい。 **学生の主体性の確保**
→アクティブラーニングに積極的に取り組めるようなインセンティブを与える。

例、各種の論文コンクール等への応募
PBL (Project-Based Learning、課題解決型学習)となる。
成果は就職活動等でアピールできる。

アクティブ・ラーニングと就職活動との関係

- 「意識(意欲)の高い学生」の出現
ゼミ、サークル、団体等で活発に取り組んでいる学生。
- その一方で、「意識(意欲)の低い学生」もあり、就職活動でエントリーシートに書くことや面接で話すことのない学生もいる。
- 就職活動で書けるような、話せるような体験のない学生にアクティブラーニングで体験させる。

アクティブ・ラーニングの課題・問題、今後の改善点、提案

- 授業全体の中でのアクティブラーニングの位置付け。
→講義での経済学の理論と現実の経済問題での実践のバランスのとり方を考える必要がある。
- 例、学生のニーズは実践重視であるが、授業は理論重視。

アクティブ・ラーニングの課題・問題、今後の改善点、提案

- アクティブ・ラーニングが実施しやすいこと。
教員の負担の軽減。
- ・使用しやすい教材の活用。
- ・教材の共有化。

※既存の教材をもっと活用すべき。そのための普及活動を。